

#### 4) スポット法およびディップ法による神経芽細胞腫マス・スクリーニングにおける採尿ろ紙の統一について

高杉信男，佐藤泰昌，花井潤師（札幌市衛生研究所）

##### 1. 目 的

神経芽細胞腫マス・スクリーニング法として実施されているスポット法およびディップ法において、検体採取に用いられるろ紙は、スポット法が東洋ろ紙№2，ディップ法が東洋ろ紙№63に統一されている。しかし各地域では、独自に採尿ろ紙を使用しており、その形状，大きさ，ろ紙や包装紙への印刷等は統一されていない。

そこで両方法における採尿ろ紙を統一し，これら材料費に係るコストの低減を図ることを目的とする。

##### 2. 統一ろ紙（案）

スポット法12施設，ディップ法16施設の全国31施設について，採尿ろ紙の現況を調査し，さらにアンケート調査を行い，これらの結果をもとに各方法における統一ろ紙（案）を作成した。

(1) スポット法ろ紙：ろ紙は東洋ろ紙№2を使用し，その大きさは7×10cmの角型とする。印刷する項目は，子供の氏名，生年月日，尿をつけた日，保護者住所，電話番号，保護者氏名，尿をつける点とし，ろ紙上に印刷する（図1）。

〔提案説明〕

- a) 印刷内容は，全国の使用状況から最大公約数的なものを採用した。従って地域により，本案以上に必要な事項ないしは不必要な事項等については，各地域で独自に用意している「尿のとり方」等の説明書によって別途指示するものとする。
- b) 最上部の余白は，検体番号や保健所名など必要とする場合に利用する。
- c) スポット個所は1個所とし，発色部分を明確にする意味で，スポット点を指定した。
- d) 採尿部分は3×7cmと余裕をもたせ，再検査や他の確定試験もできるようにした。
- (2) ディップ法ろ紙：ろ紙は東洋ろ紙№63を使用し，1.5×5cmの大きさの角型ろ紙3枚をビニール袋に入れたものとする。印刷を必要とする場合は，ビニール袋に貼った7×6.5cmのラベルに，スポット法と同じ印

子供の氏名			
生年月日		昭和	年 月 日
尿をつけた日		昭和	年 月 日
保護者	住所		
	電話番号		
	氏名		
尿を一滴付けて下さい			
×			

図1 スポット法ろ紙（実物大）

刷項目で行う(図2)。

〔提案説明〕

- a) ろ紙はコストの面を考慮し、現在使用されている最小の大きさで、かつ最も利用されている1.5×5cmの角型とした。
- b) ろ紙は再検査や、他の検査での利用等を考慮し、3枚入りとした。
- c) ビニール袋へのラベルは、現在の利用状況から、貼布しないものも可とした。



ラベル

子供の氏名				
生年月日		昭和	年	月 日
尿をつけた日		昭和	年	月 日
保護者	住所 電話番号			
	氏名			

図2 ディップ法ろ紙 (実物大)

### 3. ろ紙コストについて

統一ろ紙規格での価格について、従来の価格とろ紙を統一した場合の価格を比較した(表1)。なお価格の比較は、メーカーの定価によった。

### 4. まとめ

スポット、ディップ両方とも、現在その採尿ろ紙は千差万別である。その理由のひとつは、両方法とも再検査や確認検査のために各種の工夫をこらしていることである。スポット法では簡易ペーパークロマトの併用、ディップ法では薄層クロマトグラフィーや高速液体クロマトグラフィー測定との併用などである。

第二の理由は、各地域のシステム上の違いによるものである。保健所を経由するか否か、検査結果を通知するか否かなどである。さらに加えて、検体の保存、確認等を考慮した各地域の工夫もあり、これらに伴い、ろ紙の形状、大きさ、印刷内容等はそれぞれ異なったものとなっている。

従って、本案ではコストの面を考慮し、またできるだけこれら地域ごとの特性も活かせるよう幅をもたせた統一ろ紙(案)を作製したつもりである。

なお、本案の目的とするコストは、今後の全国の使用状況によっては、さらにその低減も可能であると考えられる。

#### (1) スポット法ろ紙

(東洋ろ紙 No.2, 7×10cm 印刷込み)

	従来価格	統一ろ紙価格
1枚当り	10円	8円

#### (2) ディップ法ろ紙

(東洋ろ紙 No.63, 1.5×5cm 3枚組)

	従来価格	統一ろ紙価格
ビニール袋入りろ紙	21円	17円
ラベル印刷込ビニール袋入りろ紙	24円	20円

表1 ろ紙価格比較表



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### 1. 目的

神経芽細胞腫マス・スクリーニング法として実施されているスポット法およびディップ法において、検体採取に用いられるろ紙は、スポット法が東洋ろ紙 No.2, ディップ法が東洋ろ紙 No.63 に統一されている。しかし各地域では、独自に採尿ろ紙を使用しており、その形状、大きさ、ろ紙や包装紙への印刷等は統一されていない。

そこで両方法における採尿ろ紙を統一し、これら材料費に係るコストの低減を図ることを目的とする。